

難燃ケーブル： 出火防止のために

Flame-retardant Cable - for Fire Prevention

世田谷火災以後のケーブル開発では、難燃性が高く、有毒ガスを発生せず、煙の発生が少ないことが目標として設定された。
その結果、燃焼すると水蒸気を発生して延焼を防ぐ機能を持つ
ノンハロゲン難燃ケーブルが実用化された。

